

令和4年度 福岡小学校 学校評価計画

重点目標 (めざす姿)	重点目標及び具体的方策	主担当	【評価指標】	【評価の根拠】 達成度判断基準
1 組織的な 学校運営	①<安全・安心で楽しい学校づくり> 児童が安心して明るく元気に学校生活を送れるよう、物心両面における安全管理と危機管理に努め、いじめ・不登校・人権・特別支援等の課題には、組織的に迅速・適切に対応する。	教頭・ 生徒指導	学校全体として危機管理意識を高く持ち、いじめ・不登校等に対して日頃の「見取り」をはじめ、定期的な児童アンケートや面談等を通して早期発見に努めている。	【児童アンケート ②】 ・学校は楽しい。 ・みんなかで何かをすることは楽しい。 ・先生は、自分のよいところを認めてくれる。 【保護者アンケート①】 ・お子さんは、楽しく学校へ通っていると思う。 【教職員アンケート②】 ・いじめや不登校等の気付きを報告・連絡・相談し、組織として迅速・適切に対応している。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	②<主体的・協働的な学校づくり> 学校運営の状況や課題及び学力の傾向や課題について、全職員が共有し、組織的・計画的に取り組みと同時に、教職員のキャリアアップを図る。	教頭	主任層が中心となり、各種ロードマップの取組が、明確なねらいのもとに組織的・計画的に行われるとともに、PDCAの実働化を図っている。	【教職員アンケート⑩】 ・各種ロードマップの取組が組織的・計画的に実践され、検証を経て改善されている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	③<業務改善> 教職員が常に時間管理や環境整備、ワークライフバランスの意識を保持し、ICTの活用やSSS,専門スタッフとの協働を進めながら、業務のスムーズ化を図る。	教頭	児童と向き合う時間の確保に向け、業務の見直しや改善策が図られている。	【教職員アンケート⑫】 ・ICT活用による会議・業務のスリム化、SSSや専門スタッフとの協働等により業務改善が進んでいる。 ・ワークライフバランスを心がけている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
2 知(確かな 学力の 育成)	①<学力向上と授業改善> 授業改善に向けた研修(OJTを含む)を充実させる。また、自校の学力の傾向と課題とその改善策を共有し、「学力向上プラン」及び「学力向上ロードマップ」の確実な実施を行う。	教務	授業改善の意識を常にもって研修し、目標達成にこだわった授業を積み上げている。また、自校の課題を共有し、学力の向上が児童の実感となっている。	【教職員アンケート】 ・学力の傾向と課題・その改善策について教職員の間で共有し、学力向上プランに基づいた共通実践をしている。(能美市) ・研修(OJT)で学んだことを授業改善に活かしている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	②<基礎基本と活用力の育成> 「きらめきシステム」等を充実させ、基礎的知識・技能の定着及び活用力を育成する。	教務	「きらめきシステム」が組織的・計画的に運営され、基礎・基本の定着及び活用力の育成に成果として表れている。	【漢字・計算・検証問題の結果】 ・学期末漢字計算テスト・検証問題の結果 A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満 【保護者アンケート③】 ・子どもの家庭学習が習慣となっている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	③<学ぶ喜びと達成感のある授業づくり> 算数科において、考えをつなぎ、広げ、深め合う場面での数学的活動を充実させる。学びの自覚化につながる振り返りを充実させる。	研究	算数科において、児童が図・式・言葉で筋道を立てて考えを表現している。また、児童が学びを自覚している。	【児童アンケート ⑥】 ・算数科において、考えを図・式・言葉を使って表現している。 ・授業で分かったことやできたことをまとめたり振り返りして、考えが深まっている。 【教職員アンケート】 ・学びの自覚化につながる振り返りを評価し、授業改善に活かしている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	④<GIGAスクール構想の推進> GIGA校内研修推進リーダーを中心に、年間計画に沿った研修を行うことで、全教員が「児童が一人一台端末を活用して学ぶ授業」の実践力をつけ、児童の情報リテラシーを高める。	GIGA推進リーダー 校内研修	GIGA校内研修が計画的に行われており、全教職員が1日2時間の使用を目標とし、「児童が一人一台端末を活用して学ぶ授業での効果的活用」の実践交流を行っている。	【児童アンケート⑤】 ・授業で、ICT機器を使って学ぶよさを感じる。 【教職員アンケート⑦】 ・効果的なICT活用の交流により、自身のスキルアップしている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
3 徳(豊かな 心の 育成)	①<種福的な生徒指導> 共感的人間関係を育む言葉を豊かにする取組をしたり、QUの結果を効果的に活用したりする。	生徒指導	親和的な学級づくりが進み、自己肯定感や共感の人間関係が醸成されている。	【児童アンケート⑮①】 ・友達の頑張りやよさを認めたり、励ましたりする言葉かけをしている。 ・自分には、よいところがあると思う。 【教職員アンケート⑪】 ・個々の児童の頑張りやよさを認めたり励ましたりする言葉かけをしている。 A:90%以上 B:85%以上 C:75%以上 D:75%未満
	②<居心地のよい集団づくり> 生徒指導の3機能をいかした授業づくりを推進し、児童が主体的に取り組み、お互いを大切にしながら協働性を高める実践を工夫することで、「より良い学級・学校を自分たちでつくる」という意識を高める。	生徒指導	一人一人が「よりよい授業・学級・学校を自分たちでつくる」意識を持ち、誰かの役に立つことの大切さに気付いている。また、自分から気づいた「よいこと」を行動に移す意識が高まっている。	【児童アンケート ⑨】 ・話し合うときは、友達の思いや考えを大切にしている。 ・自分から気づいた「よいこと」を行動しようとしている。 【教職員アンケート】 ・生徒指導の3機能を意識した授業を実践している。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	③<道徳・人権教育の推進> 道徳の重点項目(友情・信頼、よりよい学校生活、集団生活の充実)を中心に道徳の時間を充実させる。また、豊かな体験を活かし、教育活動全体を通して心に響く道徳教育を推進する。	道徳教育推進教師	道徳及び人権教育の計画的授業実践を行う。また、教育活動全体で、体験的な活動を通して、重点項目を中心に、心に響く道徳教育を行っている。	【児童アンケート⑩】 ・道徳の時間に自分の考えを深めたり新たな考えに気付いたりしている。 【教職員アンケート⑬】 ・教育活動全体を通して、人権尊重の精神や道徳的実践力を育てている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
4 体(健やかな 身体 の 育成)	①<基礎体力づくりと体力の向上> 体育の授業の充実と1校1プランに基づく体力づくりを行い、児童が目標を持ち、粘り強く頑張り、運動に頼り始めるようにする。	保健体育部	体力チェックシートとICTを効果的に活用した授業をしている。また、児童が個人や集団として立てた目標に向かって意欲的に各種運動に取り組んでいる。	【児童アンケート⑭】 ・体育の学習で、自分のめあてを持って粘り強く取り組んでいる。 【教職員アンケート⑭】 ・授業や体育的行事において、個々の児童が目標を持って粘り強く運動に取り組めるように、工夫している。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	②<健康生活の推進と安全指導の徹底> 感染症対策・熱中症対策等の指導を通して、自ら健康や命を守る判断力を育てる。	保健体育部	安全指導を徹底し、病気のやけが、事故の防止とともに、児童の危機回避能力育成に努めている。	【児童アンケート⑬】 ・病気のやけが、事故に気をつけて行動している。 【教職員アンケート⑮】 ・安全指導を徹底し、児童が健康生活や危機回避への意識を持てるように指導している。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	③<メディアコントロール力の育成> 児童が健康や生活に関心を持ち、主体的によりよい生活習慣・食習慣づくりを推進する。また、地域・保護者と連携して、メディアコントロール力の育成を図る。	保健体育部	「早寝週間」「早起き週間」「生活見直し週間」の取り組みを推進し、児童の生活リズム・学習習慣が整っている。児童の生活や学習の状況を理解し、より良い習慣育成のための家庭での指導・支援を行っている。	【児童アンケート】 ・よい生活リズム作りを心がけて取り組んでいる。 【保護者アンケート⑫】 ・子どもの早寝・早起きやSNSのルールを決めて実行し、生活リズムや環境を整える取組をしている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
5 家庭・ 地域との 連携	①<保護者・PTAとの連携による社会性の育成> 保護者と連携して、PTA活動の活性化と児童の社会性の育成を図る。また、児童・保護者が参画意識を持って、あいさつ等、社会性の育成に取り組めるよう努める。	教頭	PTA活動の趣旨が理解され、協働意識が高まるとともに、学校行事やPTA行事に保護者が積極的に参加している。	【児童アンケート⑧】 ・自分から挨拶をしている。 【保護者アンケート⑤】 ・お子さんは、地域の方等にすすんで挨拶したり、地域に関心を持ったりしていると思う。 ・PTAの取組や地域行事にできるだけ参加している。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
	②<コミュニティスクール事業の推進> 学校と地域が協働し、子どもを地域で支え育むため、学校運営協議会を充実させ、地域の人材が積極的に学校運営に参画できるコミュニティスクールを継続する。 家庭・地域のニーズを把握し、「開かれた学校」として地域や保護者に信頼される学校づくりを進める。	CS担当教諭	地域人材の有効活用をはじめ、校内外の課題を効果的に協議・改善するため「学校運営協議会」の運営の充実を図る。また、多様な媒体で「開かれた学校」づくりについて適切に情報を発信する。	【児童アンケート⑬】 ・地域の学習や地域の先生との学習で、知る楽しさを感じたり学びが深まったりしている。 【教職員アンケート⑲】 ・学校運営協議会と目標を共有して活動している。 【学校運営協議会委員の意見】 ・学校と地域が目標を共有して、主体的に活動していると感じている。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満